

一般廃棄物ストックヤードの「敷地造成工事」及び「施設建設工事」を実施し、環境にやさしいごみの再資源化を強力に推進します。

【防犯対策】

地域、自主防犯組織、警察、行政等が連携し、町が一体となった防犯対策を推進する「熊野町防犯まちづくり協議会」を中心に、地域コミュニティによる犯罪防止機能の強化、住民一人ひとりの防犯意識の高揚を図り「安心して生活できるまち」の実現を目指します。

【地域防災】

住民の生命、身体及び財産を守るため、昨年の台風災害や他県における地震災害を教訓として防災備蓄の強化を図るとともに、防災関係機関の連携や防災体制の確立等、ソフト面を中心に防災力の向上を図ります。

建設部門

建設部門においては、引き続き、「便利で快適な都市基盤・生活環境の整備・改

善」に努めます。

【県道整備】

本町におけるインフラ整備の最重要課題である主要地方道矢野安浦線の整備は、事業主体である広島県において、川角交差点から東側、県道瀬野呉線・町道昭和線と接続するまでの区間について、平成16年度では用地取得等を強力に推進していただいています。

また、深原地区における熊野黒瀬間のトンネルについても、同じく平成22年度の供用開始を目標に事業を進めていただいている状況です。慢性的な交通渋滞解消のため、県等関係機関へ、引き続き、早期完成を強く要望してまいります。

【町道整備及び改良】

深原地区公園の進入路でもある町道深原公園線の橋梁上部工事を実施し、東部地域健康センターへの進入路となる町道追分深原2号線新設工事に着手します。

また、町道稲垣線においては、昨年に引き続き、川

角大橋の橋梁上部工事を実施します。

その他、熊野北農道の急カーブ等の国庫補助による部分改良をはじめ、狭小な道路の拡幅改良、離合場所の整備及び老朽化した道路の舗装・補修工事を計画的に行い、安全性の向上に努めます。

【深原地区公園】

平成16年度に着手した深原地区公園は、平成19年度の完成を目指し、第2期整備工事を実施します。

【公共下水道事業】

中溝、萩原、城之堀、初神地区の一部約23ヘクタールの整備を予定しており、平成17年度末の事業普及率は約75%となる見込みです。

【上水道事業】

未給水地区の解消事業として、平成16年度に引き続き、新宮、萩原地区の整備を計画しています。

教育部門

〈学校教育〉

未来を託すべき児童生徒一人ひとりが人間性豊かに能

力・適性を最大限に伸ばすことを目的とし、住民の信頼に応える教育の確立に努めます。

【土曜夢塾】

学校の週5日制も3年が経過し、定着してきましたが、全国的に学力が低下しているのではとの指摘もあることから、昨年に引き続き、小学校高学年と中学3年生を対象に2学期から半年間、家庭教育の支援及び学力補充のための「土曜夢塾」を行います。

【英語指導助手、指導主事の配置】

国際理解教育推進のため、昨年度に引き続き、小学校に2名、中学校に1名、計3名の外国人英語指導助手を配置します。

また、平成17年度には教員の指導力・教育力の向上のため、広島県教育委員会に、指導主事の派遣を要請しています。

〈生涯学習〉

住民一人ひとりが生涯を通

じて行うことができる、幅広い学習機会の提供を行うとともに、家庭教育支援及び子どもの居場所づくりを推進します。

【図書館】

平成17年夏の開館を予定している町立図書館においては、子どもからお年寄りまで、幅広い年齢層が気軽に利用でき、図書やその他の資料、各種情報提供を通して明るく住みよいまちづくりに寄与し、生涯学習に資する施設を目指します。

【スポーツ振興・NPOの設立】

生涯スポーツの普及は、住民の健康や体力の増進を図るだけでなく、その活動を通じて地域コミュニティの活性化や青少年の健全育成にも寄与するものと認識しています。このような目的のもとに、町内に新たに設立されたNPO法人など地域の自主的な活動を支援し、町民スポーツのより一層の普及、振興を図ります。

(総務課 820・5601)

施政方針

平成17年第1回熊野町議会議定例会において、町長が平成17年度の施政方針を述べました。特に、重点をおいたものを中心に、その概要をお知らせします。

各部ごとの重点施策

民生部門

民生部門においては、「環境と調和した安心できる地域社会の構築」に向け、住民ニーズに応じたサービスの充実に努めます。

【くまの・みらい21事業】

近年の少子化と多様化する子育てニーズに対応するため南県管住宅跡地における「くまの・みらい21事業」の第1期計画として、平成19年4月の開所に向けて、一時保育や病後児保育の専

熊野町の施策

安全で安心できるまちづくりに向けて平成12年に策定した、「第4次熊野町総合基本計画」の基本理念である「三世代が住みよい緑の生活創造都市・熊野町」の実現を目指します。また、住民生活の質の向上にとって必要性・緊急性の高い施策について、限られた財源を効果的に活用して、積極的に推進していきます。

平成17年度予算編成方針

本町の財政状況は、国の構造改革に伴う地方交付税の減額、厳しい経済状況を反映した町税収入の大幅な減額、公債費の累増などにより、大変厳しい財政運営を余儀なくされています。

このため、平成17年度も引き続き、財政健全化を町の最重要課題とし、第3次熊野町行政改革大綱に基づき徹底した経費節減を行うと共に、各事業については、その行政サービスの妥当性、効率性を十分検証した上で、予算編成に取り組みました。

【事業費関係】

- ・義務的経費を除く経常経費を一般財源ベースで前年度比90%に削減

【人件費の抑制】

- ・調整手当の廃止
- ・55歳以上の昇給停止
- ・定年・依願退職時の特別昇給の廃止

用居室、遊戯スペース等を備えた多機能保育所の整備を進めます。

【子育て支援事業の充実】

子育てについての不安の解消と、子どもとその家族をめぐる様々な問題に対応するため、子育て支援センター等での子育て教育や相談業務などの支援対策の充実を図ります。

【障害者支援体制の構築】

障害者が人として尊重され、地域で共に協力し合い、主体的に社会活動に参加できるまちづくりを行い、安心してサービスが利用できる体制を構築し、暮らしや

すい地域づくりに向けて取り組みます。

【介護予防事業】

要介護状態になることを予防するための事業として、「高齢者筋力向上トレーニング事業」を試行事業として取り入れ、介護予防に対する有効性の評価、事業実施の検討を行います。

【生活習慣病予防対策事業】

住民一人ひとりの健康寿命の延伸を目的に取り組んでいる生活習慣病予防対策事業については、科学的根拠に基づいて生活習慣病に罹患する可能性が高い住民を選定し、個人の生活状態

や意向に応じた個別の健康教育を新たに開始します。

この先駆的な取り組みは、専門家の方々からも高い評価をいただいております。平成17年度は、国の財政支援も受け、効果的な健康教育体制の構築と、自らが健康づくりに取り組めるよう栄養・運動等に対する支援体制の整備・強化を図り、健康増進や介護予防の充実に努めます。

【環境問題】

「ごみの減量化や資源循環型社会の構築を強力に推進し、地球環境への負荷を抑えるため、平成16年度、17



年度の2カ年で、本町のリサイクル推進の拠点整備として、国庫補助の採択を受けて実施している「熊野町環境センター跡地整備事業」については、既に事業を完了した「ごみ焼却施設の解体撤去工事」に引き続き、資源物再生利用施設として、